

新しい出会いに感謝



懐かしい顔ぶれですが、誰かわかりますか？

今回は名柄さんが中国へ帰国する前に急遽決まった2回生同窓会で、主役は当然のことながら名柄さんです。今回の同窓会からさかのぼること1ヵ月半前、蒲刈町の県民の浜で毎年実施している5年生の「海の学習」の期間中に、名柄さんが家族連れで現地に遊びに来ており、久しぶりに田島先生と話をしたことが伏線にあったように思います。

9月9日(木)と平日にも拘わらず、10人近いメンバーが集まりました。顔ぶれも、会社経営、司会業、女医さん、会社員、学校の先生等、多士済々でした。子供連れで参加した女性が2名いたのは嬉しいことでしたが、それにも増して、国際結婚しているものが2名いたのには驚きました。さすが、安田小学校の卒業生という感じがしました。

今回のメンバーは、安田小学校に勤務して間もない頃に受け持った子どもたちで、思い入れも人一倍強く、それぞれの歩んできている人生に拍手を送り、更に今後は自信を持ってこれからの人生を歩んでほしいという気持ちになりました。

卒業生との新しい出会いに感謝です。(山本 勝也)

「みんな小学校時代の面影が残っていて、25年前をありありと思い出しました。それにしても仲のいい学年ですね。それぞれが結構よく連絡を取り合っているのには驚きました。」 (小島規剛)

昨日はお忙しい中遅くまでお付き合いいただき、ありがとうございます。先生方の変わらぬお元気そうな顔を拝見出来て、大変嬉しく、楽しいひと時を過ごさせていただきました。みんなの思い出話があっけに飛びこっちに飛びほん、楽しかったです。話題も尽きず、もっともっと色々お話をしたかったのですが、平日の夜ですので、少し残念でしたが、わざわざ来てくださった先生方や久しぶりの同窓生のみんなに本当に感謝しています。(名柄 智栄)